

Mi-com

武蔵工業大学後援会誌

No. 4

1991-7



『後援会とは何か』

武蔵工業大学後援会
会 長
金 原 淑 郎



マイコム第4号の発刊に当たり、武蔵工業大学後援会会員と関係者の皆様方にご挨拶申し上げます。

武蔵工業大学後援会が発足して3年目を迎えました。去る5月25日に開催された平成3年度評議員会において、会員数3261名(5月20日現在)、予算8366万円の本年度の後援会事業計画が承認され、あわせて小生が同会会長に再任されました。微力ながら本会の発展のために全力を尽くす所存でございますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、“後援会とは何か”、後援会は何のために必要なのでしょうか。新入生諸君は大学へ入学してこれから4年間の授業を受ける中で、学問の奥深さを学べることでしょう。しかし、授業を受け、学問を極めることだけが大学の目的の全てではありません。森羅万象の奥深さを追求するために、又、長い人生における趣味を養うために、又、一生励まし合える親友を得るために、更に自己の人格を形成するためにと、スポーツ、サークル活動、同好会など何でも良いですから課外活動の一つでも、とことんやって欲しいと考えています。学問と同様に、そうした活動の追求の広さ、深さが大学の広さ、深さにも繋がり、人類の知恵の豊かさ、測りしれなさを見せてくれるでしょう。そこまで体験することによって初めて、社会全体に貢献する人間性豊かな技術者の育成を目指す武蔵工業大学で学んだ本当の意義を味わうことができるはずです。

後援会は、大学の正課外のこのような幅の広い、奥の深い人を創る活動を後援するのが最大の目的であると考えます。後援会はあくまでも任意加入であります。在学生ご父兄諸氏に上記の趣旨をご理解頂き、全員の方が入会して頂くことをお願いいたしております。武蔵工業大学の益々の発展のため、関係各位のご支援を重ねてお願い申し上げます。

平成3年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成3年度評議員会が平成3年5月25日(土)午後2時45分から大学の新しい研究棟312教室において評議員56名(委任出席12名)と役員の出席のもとに開催された。

評議員会は金原淑郎会長の挨拶で始まり、今年度新しく評議員に就任された方々が紹介された後、議事に入った。

議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明があり、その後、この説明にもとづいて討議が行われ採決の結果、次の議案が可決、承認された。

なお、当日は評議員会に引き続き、「大学教職員との懇談会」が新設の学生談話室(9号館)で開かれ、古浜学長他38名の教職員の出席を得て有意義な懇談が行われた。

武蔵工業大学後援会 平成3年度 評議員会

平成3年5月25日(土)
武蔵工業大学 312教室

1. 開会の辞 —— 金原会長 ——
2. 報告事項
平成3年度 後援会の会員数について
3. 議 事
第1号議案 平成2年度 事業報告について
第2号議案 平成2年度 決算報告について
第3号議案 平成3年度 事業計画案について
第4号議案 平成3年度 予算案について
第5号議案 平成3年度 役員候補者について
4. そ の 他
会務の処理に関する事項
5. 閉会の辞 —— 井出副会長 ——



▲平成3年度評議員会

平成2年度 事業報告

(1) 事業

1. 正課外教育援助

イ、「課外活動に対する補助制度」による援助総額
約1,760万円(5頁資料参照)

主な援助対象

- (1) 学生団体連合会へ援助(学生団体連合会の共同利用機器としてのワープロ購入の他、同会による全課外活動の統括活動に対して)
- (2) 体育祭、水泳大会、MIT祭、Mi-Techテニストーナメントへ援助
- (3) ラグビー部の全国地区対抗戦の出場へ援助
- (4) 学生団体連合会によるリーダーズ教育のための講演会へ援助(ラグビーの指導者として有名な日比野 弘 早稲田大学人間科学部教授により、指導者のあり方について学習)
- (5) 留学生の富士登山に対して援助

ロ、大学と学生の共催行事のスプリングフェスティバルの講演会への援助(タレントの古館伊知朗氏から、新入生に対して新たな学生生活の出発にあたっての示唆が与えられた)

ハ、大学の課外活動賞(学長賞、学生部長賞、課外活動奨励賞)のうち課外活動奨励賞の新制定に伴い、副賞(盾)を本会の名を刻して贈呈

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

イ、大学と共催で全国20会場で開催した「大学と父母との連絡会」の費用の内282万円を分担。全国の会場において評議員の方々に会の運営に協力を得た。

早川評議員(釧路) 齊藤評議員(長野) 木滑評議員(新潟) 奥村評議員(静岡) 安藤評議員・鈴木評議員(名古屋) 赤松評議員(広島) 藤木評議員(茨城) 堀越副会長(東京)

ロ、東京会場において堀越副会長が後援会を代表して挨拶(平成2年9月30日)

3. 大学行事への協力

イ、平成2年度入学式に金原会長が来賓として出席し祝辞(平成2年4月2日)

ロ、学校法人五島育英会傘下の後援会合同懇親会に

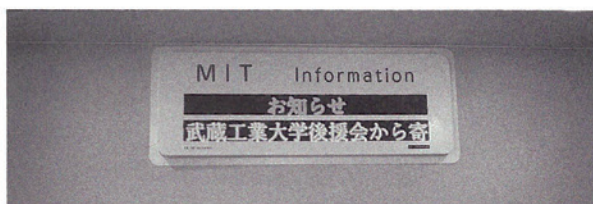
井出副会長、府川会計監査が出席(平成2年7月14日)

ハ、水素自動車「武蔵8号」の完成発表に際し、古浜学長にお祝金(平成2年7月14日)

ニ、平成2年度卒業式に齊藤理事が来賓として出席し祝辞(平成3年3月20日)

4. 学生厚生援助

列車内や駅などで使われているLED式電光掲示板を学内情報伝達装置として学生食堂の1、2階に設置。学団連が管理し、学生個人、団体が自由にメッセージの伝達に利用している。



▲明るい雰囲気の新設2階食堂とLED電光掲示板

5. 会誌の発行

後援会の会誌「Mi-Com」2号(平成2年8月)、3号(平成2年12月)を刊行し会員へ送付。

6. 入会案内等の発送

イ、平成元年度、2年度入学者の内、未入会者の父母宛の入会案内(平成2年4月、7月)、および平成3年度入学予定者(推薦、A方式、附属、B方式)の父母宛の入会案内(平成3年1月、3月)を発送。

ロ、後援会の入会案内用パンフレットの作成。

(2) 運 営

理 事 会

平成2年4月28日(土)

平成2年度評議員会提出案件の審議

平成2年11月10日(土)

イ. 平成2年度の(1)事業経過、(2)入会者数、(3)「大学と父母との連絡会」の結果、に関する審議。

ロ. 平成3年度の会議日程、役員候補者選考、入会案内に関する審議。

なお、当日は理事会終了後、顧問の古浜庄一学長ほか大学関係者との懇談会が行われた。

評 議 員 会

平成2年5月26日(土)

イ. 平成元年度事業報告・決算報告および平成2年度事業計画案・予算案の審議。

ロ. 平成2年度役員の選出、委嘱について。

なお、当日は評議員会に先立って学内の見学会を行い、また評議員会終了後大学教職員との懇談会が行われた。

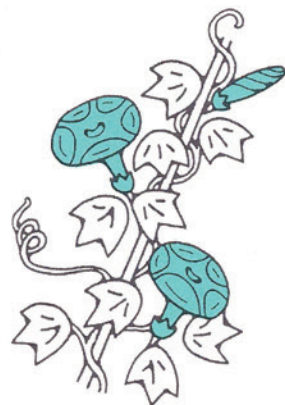
備 品 の 購 入

後援会の会員名簿等の管理のためパーソナルコンピュータ (PC-9801RA21) 一式を購入。

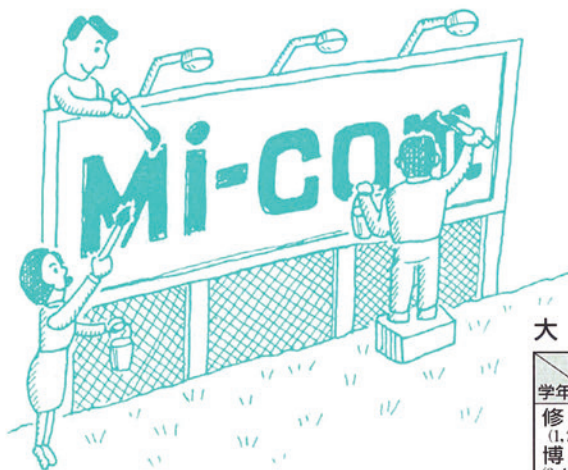
会 計 監 査

平成3年4月20日(土)

今岡、府川両会計監査により平成2年度の会計監査を実施。



♣平成3年度 後援会会員数♣



工 学 部

平成3年5月20日現在

学科 学年	機 械	電 気 電 子	電 子 通 信	建 築	土 木	経 営	合 計
1年生	220 (2)	170 (2)	141	105 (2)	99	136 (1)	871 ⁽⁶⁾ (7)
2年生	266	140	83	124	91	159	863
3年生	225	153	114	123	92	117	824
4年生	139	88	73	66	100	106	572
合 計	850	551	411	418	382	518	3,130

()は留年生で内数

大 学 院

専攻 学年	機 械	生 産 機 械	電 気	建 築	土 木	経 営	原子力	合 計
修 士 (1,2年)	32	19	42	10	16	10	2	131
博 士 (3,4,5年)								

平成2年度 決算書

平成2年4月1日～平成3年3月31日

科 目	平成2年度予算	平成2年度決算	差 異	備 考
(収 入 の 部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会 費	42,000,000	44,240,000	2,240,000	・新入生、在学生
2. 雑 収 入	50,000	3,041,588	2,991,588	
3. 前 年 度 繰 越 金	30,543,992	30,543,992	0	
収 入 の 合 計	72,593,992	77,825,580	5,231,588	
(支 出 の 部)				
事 業 費	32,700,000	26,720,396	5,979,604	
4. 正 課 外 教 育 援 助 費	22,400,000	17,675,161	4,724,839	※詳細は下欄を参照。
5. 父 母 連 絡 会 費	3,300,000	2,820,000	480,000	・全国20ヶ所で大学と共催
6. 大 学 行 事 協 力 費	1,000,000	555,555	444,445	・スプリングフェスティバルへの援助
7. 学 生 厚 生 援 助 費	3,000,000	3,037,000	-37,000	・LED表示装置
8. 会 報 発 行 費	3,000,000	2,632,680	367,320	・Mi-com No 2、No 3
運 営 費	6,600,000	5,125,743	1,474,257	
9. 事 務 費	1,500,000	1,000,483	499,517	・アルバイト代、事務委託費、消耗品費
10. 会 議 費	500,000	718,495	-218,495	・役員会、評議員会
11. 印 刷 ・ 通 信 費	2,100,000	2,361,879	-261,879	・通知、案内の郵送、印刷代
12. 旅 費 ・ 交 通 費	800,000	444,640	355,360	・地方評議員の旅費
13. 備 品 費	1,200,000	567,736	632,264	・パソコンの購入
14. 雑 費	500,000	32,510	467,490	
予 備 費	1,500,000	300,000	1,200,000	
特 別 会 計	8,200,000	8,200,000	0	
15. 後 援 会 基 本 積 立	4,200,000	4,200,000	0	
16. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	2,000,000	0	
17. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	1,000,000	1,000,000	0	
18. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	1,000,000	1,000,000	0	
小 計	49,000,000	40,346,139	8,653,869	
次 年 度 繰 越 金	23,593,992	37,479,441	-13,884,949	
支 出 の 合 計	72,593,992	77,825,580	-5,231,088	

※正課外教育援助費内訳

科 目	平成2年度予算	平成2年度決算	差 異	備 考
正課外教育援助費	22,400,000	17,675,161	4,724,839	
課外活動援助費	20,300,000	17,357,381	2,942,619	・「課外活動に対する補助制度」(資料別添)の費用ほか
(イ)学団連援助金	(11,000,000)	(11,000,000)	(0)	・学団連執行委員会、体育会・文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(ロ)一般援助金	(7,500,000)	(6,277,381)	(1,222,619)	・課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、地域活動
(ハ)学生行事援助金	(1,800,000)	(80,000)	(1,720,000)	・体育祭、MIT祭、水泳大会、ソフトボール大会、公開企画、特別行事、Mi-Techテニストーナメント等
学 生 顕 彰 費	100,000	77,250	22,750	・ボランティア、課外活動、課外研究
学 生 生 活 指 導 援 助 費	2,000,000	240,530	1,759,470	・リーダー教育、学生団体の顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交流指導、研修・見学指導

平成3年度 事業計画

(1) 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより活性化をはかるため、学生団体および学生行事等に対して援助を行う。

(1) 課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による援助を行う。

学生団体連合会援助

(学団連執行委員会、体育会、文団連、MIT祭実行委員会、放送会、吹奏楽団、新聞会)

一般援助

(課外研究、対外活動、環境向上活動、情報活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等)

学生行事援助(全学的行事)

MIT祭、体育祭、水泳大会、ソフトボール大会、Mi-Techテニストーナメント、公開企画、特別行事等に対する援助

上記の援助は援助支給希望団体(個人)の申請のもとづき、大学学生部の意見を受けて決定される。

(2) 学生顕彰

課外活動賞の内、課外活動奨励賞の副賞を贈呈

(3) 学生生活指導

リーダ教育、顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交流指導、研修・見学指導に対する援助。

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

大学と共催し、全国各地において年1回大学と父母との連絡会を開催する。今年度は東京を含め全国20ヶ所で開催する。地方会場に学長の出席を要請。

3. 「役員、評議員と大学教職員との懇談会」の開催

平成3年5月25日(土)大学から学長、理事、主任教授、学生部委員、クラブ顧問、事務局管理職が出席。

4. 大学行事協力

大学の主催する行事(スプリングフェスティバルほか)への協力。

5. 学生厚生援助

学生生活の厚生に関わる援助。(9号館、18号館の備品援助等) 学内クリーンキャンパス運動援助

6. 会報の発行

後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、会員相互の親睦をはかる。

(2) 運営

1. 会議

理事会 2回(予定)

評議員会 1回(予定)

トピックス

増改築成ったステューデント・コミュニティセンター9号館

昨年8月より増改築工事が進められてきた9号館が、本年4月、新しいステューデント・コミュニティセンターとしてオープンした。

中でも、座り心地満点のソファを備えた広々とした明るい学生談話室は、今や学生の憩いの場となっている。新設のカレー・麺類専門の2階食堂、コンバも出来る3階集会室(和室)、それにこれまでの倍以上の売場を持つ文具ストア、ブックストアと、本年4月から学生のコミュニティセンターとしての機能が一挙に拡充された。

学団連をはじめ学生団体の中枢機能も入り、後援会寄贈のLED式電光掲示板が大活躍している。同じく本会の援助でアンプを増強した放送会も、学内を見渡せる最良のポジションから全学に情報を発信している。

科 目	平成3年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	43,680,000	(注) 新入生
2. 雑 収 入	2,500,000	
3. 前 年 度 繰 越 金	37,479,441	
収 入 の 合 計	83,659,441	
(支 出 の 部)		
事 業 費	34,800,000	
4. 正 課 外 教 育 援 助 費	24,500,000	※詳細は下欄を参照。
5. 父 母 連 絡 会 費	3,300,000	・全国各地で年1回大学と共催
6. 大 学 行 事 協 力 費	1,000,000	・スプリングフェスティバルほか
7. 学 生 厚 生 援 助 費	3,000,000	・厚生設備等への援助(9、18号館等)
8. 会 報 発 行 費	3,000,000	・後援会広報誌の作成(2回)
運 営 費	7,250,000	
9. 事 務 費	1,500,000	・アルバイト代、事務委託費、消耗品費
10. 会 議 費	750,000	・役員会、評議員会
11. 印 刷 ・ 通 信 費	2,500,000	・通知、案内の郵送、印刷代
12. 旅 費 ・ 交 通 費	800,000	・地方評議員、役員の旅費
13. 備 品 費	1,200,000	・後援会関係の備品、電算機
14. 雑 費	500,000	
予 備 費	1,500,000	
特 別 会 計	8,300,000	
15. 後 援 会 基 本 積 立	4,300,000	・将来の事業拡大のため
16. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	・大学創立記念事業協力
17. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	1,000,000	・学生事故対策として5百万円まで積立
18. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	1,000,000	・大規模な対外遠征援助1千万円まで積立
小 計	51,850,000	
次 年 度 繰 越 金	31,809,441	
支 出 の 合 計	83,659,441	

科 目	平成3年度予算	援 助 対 象
正課外教育援助費	24,500,000	
課外活動援助費	22,300,000	・「課外活動に対する補助制度」(資料別添)の費用ほか
(イ)学団連援助金	(11,000,000)	・学団連執行委員会、体育会・文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会 吹奏楽団、放送会、新聞会
(ロ)一般援助金	(9,500,000)	・課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、 地域活動
(ハ)学生行事援助金	(1,800,000)	・体育祭、MIT祭、水泳大会、ソフトボール大会、公開企画、特別行事 Mi-Techテニストーナメント大会
学 生 顕 彰 費	200,000	・ボランティア、課外活動、課外研究等
学生生活指導援助費	2,000,000	・リーダー教育、学生団体の顧問・技術指導者の合宿指導、留学生の交 流指導、研修・見学指導等

平成2年度「課外活動に対する補助制度」による援助

後援会の事業として大学の正課外教育活動に対する援助があります。その一環として学生の課外活動に要する費用の一部を補助しています。

その具体的方法として、「課外活動に対する補助制度」がありこの制度は、学生が自主的な財源確保の努力をしつつも後援会からの補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられたものです。

▶ 第1回分(平成2年6月)

No.	団体名	代表者名	顧問名	活動の名称	補助金額(円)
1	アメリカンフットボール部	荒井 克彦(電気電子4年)	古賀 浩二郎	第4回大阪工業大学戦	150,000
2	演劇部	星 達也(機械3年)	中 添 淳	照明器材(共有)の購入	150,000
3	硬式野球部	栗原 和昌(土木4年)	吉 田 英 二	東都大学野球リーグ3部入替戦	100,000
4	美術部	興石 秀人(建築3年)	田 村 宏	20大学合同絵画、オブジェ展示会	50,000
5	鉄道研究部	三瓶 隆善(機械3年)	田 村 宏	学内講演会「先端技術による鉄道信号システム」を開催	20,000
6	航空研究会	柴田 有(機械3年)	稲 村 二 彦	鳥人間コンテスト選手権大会参加	300,000
7	吹奏楽団	木島 誉(機械3年)	吉 田 祐 夫	倉庫棚およびロッカーの購入	200,000
	合 計				970,000

第2回分(平成2年10月)

No.	団体名	代表者名	顧問名	活動の名称	補助金額(円)
1	硬式野球部	栗原 和昌(土木4年)	吉 田 英 二	東都大学野球リーグ3部入替戦に勝ち3部昇格	100,000
2	英会話研究部	倉原 和成(土木3年)	高山 誠 太郎	第25回学長杯争奪英語討論大会の入賞賞品	50,000
3	硬式庭球部	市川 紀博(機械3年)	門 馬 伯 行	関東理科大学硬式庭球連盟による関西選抜メンバー遠征	20,000
4	ヨット部	竹原 寛樹(経営3年)	光 井 英 雄	ヨット試乗会の運営費として	100,000
5	潜水科学研究会	三留 昌幸(経営3年)	土 井 雅 博	第2回体験ダイビング講習会	10,000
6	テニストーナメント実行委員会	金子 淳(機械4年)	古賀 浩二郎	テニストーナメントの運営費として	420,000
	合 計				700,000

▲事務局だより▲

事務局担当 学生部長 星野 重夫

本年4月から新しく学生部長を引き受けることになりました。規定により、後援会の事務局は学生部長が担当するとの事で、5月末の評議員会終了後、前学生部長の佐藤先生から事務引継を受けました。今後は、会員の皆様のご意向に沿って会務を執行させていただき所存ですので、よろしくご支援、ご協力をお願い申し上げます。幸い、前任の佐藤先生が当後援会の顧問としてお残り頂けることになりましたので、安堵しております。

お陰様で昨年度も後援会からの援助により、学生の課外活動が活発に行われました。本年度も既に援助の申し込みが多数来ており、学生の間で当後援会の援助活動が

ようやく理解されてきたものと喜んでおります。今後は、学生の活力と若き感性を大いに活用して明るく、楽しいキャンパスを創って行きたいと思っております。



▶ 第3回分(平成2年12月)

No	団体名	代表者名	顧問名	活動の名称	補助金額(円)
1	学生団体連合会	淵沢 元樹(経営4年)	佐藤 三 禄	ハッピーロード尾山台街路灯へベナント(10万) MIT祭における横断幕の設置(25万)	350,000
2	MIT祭実行委員会	青木 隆嗣(土木3年)	小 玉 克 己	講演会の開催(20万)/演劇舞台設営(10万)/風船の配布 (20万)/飛行船の航行(10万)/花火打上げ(20万)/研究室 開放[5研究室](10万)	900,000
3	洋弓部	内田 勝也(電子通信3年)	安 味 貞 正	第19回全日本フィールドアーチェリー選手権大会へ出場 (建築3年 小山 桂介)	51,000
				第3回全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会へ 出場(建築3年 小山 桂介)	40,500
				第32回全日本アーチェリー選手権大会へ出場 (建築3年 小山 桂介)	51,600
4	バスケットボール部	加藤 悦生(経営2年)	小 玉 克 己	第32回大阪工大との定期戦	60,000
5	ソフトボール同好会	辻谷 薫(建築3年)	木 村 富 夫	東京都大学ソフトボールリーグ戦等参加費	10,000
6	ユースホステル部	加藤 良治(電気電子2年)	大 西 清	MIT祭への展示	50,000
7	写真部	福沢 久志(電気電子3年)	野 崎 喜 嗣	学内環境向上のための活動(写真展)	8,000
8	ラジオクラブ	中根 清和(機械3年)	井 出 正 男	MIT祭への展示	40,000
9	特許アイディア研究部	山崎 正二(機械3年)	浅 見 克 敏	アイディア作品展及び日本学生アイディア連盟展	70,000
10	特許アイディア研究部	山崎 正二(機械3年)	浅 見 克 敏	MIT祭への展示	40,000
11	経工会	佐藤大二郎(経営3年)	村 原 貞 夫	MIT祭への展示	200,000
12	天文研究会	渡辺 賢(機械3年)	黒 沢 敦	MIT祭への展示	50,000
13	映画研究会	水野 博明(電子通信2年)	稲 村 二 彦	MIT祭への展示	30,000
14	工業デザイン部	佐々木泰善(建築2年)	吉 野 利 男	MIT祭の展示に参加(未来的インテリアデザイン及び製作展示)	40,000
15	写真部	福沢久志(電気電子3年)	野 崎 喜 嗣	MIT祭の展示に参加	30,000
16	マイコン研究会	住吉 仁(電子通信3年)	金 子 郁 夫	MIT祭の展示に参加	50,000
16	音響研究会	岸 滋(電子通信3年)	今 井 章 久	MIT祭の研究製作発表	30,000
18	如学会 構造デザイン研究会	野溝浩太郎(建築3年)	大 須 賀 常 良	MIT祭にて研究製作発表	35,000
	計画研究会	三野 豊(建築3年)		MIT祭にて研究製作発表	35,000
	デザイン研究会	遠藤 克彦(建築3年)		MIT祭にて研究製作発表	35,000
19	鉄道研究部	三瓶 隆善(機械3年)	田 村 宏	MIT祭の展示に参加	50,000
20	潜水科学研究会	井野川敏孝(機械2年)	土 井 雅 博	MIT祭の展示に参加	30,000
21	武蔵工大みこし連	金子 淳(院・生産機械1年)	土 井 雅 博	玉川神社の祭礼に参加	30,000
	合 計				2,316,100

▶ 第4回分(平成3年2月)

No	団体名	代表者名	顧問名	活動の内容	補助金額(円)
1	学生団体連合会	近藤 千弘(電気電子2年)	佐藤 三 禄	学生団体連合会の所属団体の共通使用備品としてパー ソナルコンピュータ一式	670,118
2	学生団体連合会	近藤 千弘(電気電子2年)	佐藤 三 禄	学生団体連合会のリーダーズキャンプにおける講演会 (日比野 弘 先生)の講師への謝礼として	150,000
3	放送会	久瀬 寅(電子通信2年)	今 井 章 久	放送会の学内放送活動用の機器としてアンプ一式	110,622
	合 計				930,740

クラブ活動探訪②

(MI-COM編集スタッフ)

力いっぱい共通の目的に向かって進む、そして互いに見合わす充実の笑顔。そこに熱い友情の絆が確かなものとなって…。

今回は、昨年「東都リーグ3部」に昇格で意気上がる硬式野球部と、毎年充実した演奏を発表し巾広い活動をしているマンドリンクラブを紹介します。

武蔵工業大学硬式野球部 春季リーグを観戦

「実力の東都」と言われる程、硬式野球の有力大学がひしめく東都リーグ。その東都リーグに所属している武蔵工大硬式野球部は、昨年の春季リーグ戦で念願の3部昇格を果たしました。その後、秋季リーグでも快進撃を続け、実に20数年ぶりという3部残留を決めることに成功したのです。

今回は5月11日(日)、学習院大学グラウンドで行われた春季リーグ戦の試合の一コマを皆様にお届けしたいと思います。目下、チームのムードも絶好調の武蔵工大。さてさて一体どのような試合を見せてくれるのでしょうか。紙上観戦をどうぞお楽しみください。



▲今日(5月11日)の試合で野球部を引退する4年生選手。ご苦労サマでした。
左上から 瀬戸隆宏君(土木)、標近宏之君(土木)、後藤正幸君(経営)、
千賀保幸君(経営)、青地隆宏君(土木)、左下から 渡辺勝明君(通信)、
大堀 憲君(経営)、五百川毅君(電気)



▲先発メンバーの発表と試合前のミーティングが、なごやかな雰囲気の中に進む。一番左側が主将の渡辺勝明君(通信4年)。

硬式野球部

顧問：吉田英二 助教授

主将：渡辺勝明(電子通信工学科4年)

部員数：33名

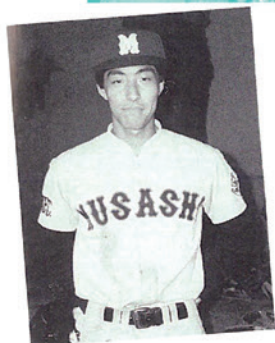
モットーは“ワイワイ楽しく、そして強く”

現在、硬式野球部は総勢33名。今年は1年生の入部が多かったので、メンバー層にも厚みができ、今まで以上にパワーアップしたチームだそうです。これら新戦力を加えた硬式野球部の練習は、主に放課後。月・土曜日は走り込み、火～金曜日はグラウンドで実戦練習を行っています。しかし理工系大学は、ご存じの通り実習やレポートの嵐。ですから、十分な練習時間が取れないのも事実です。また設備が十分に整えられないなど、さまざまなハンデもありますが、その分、部員たちはのびのびと野球に取り組んでいるようです。

さて、そんな武蔵工大硬式野球部のチームカラーは？ と主将の渡辺勝明君(通信4年)に聞いてみたところ、「ワイワイ楽しく」という答えが返ってきました。でも、3部に昇格してからは、皆“勝つ”ことへの意欲が強く出てきたため、現在のモットーは“ワイワイ楽しく + 強いチーム”なんだそうです。

監督はどこ？ エッ、いないの？

さて、この日はあいにくの曇り空。なにやら雨の匂いがする怪しげな雰囲気です。そんな天気にもかかわらず、OBや元マネージャーたちが多数応援に駆けつけてくれました。皆、“強い武蔵工大”の試合を期待しているのでしょう。部員たちはグラウンドに10時に集合し、軽い練習を済ませ、12時のプレイボールを待ちました。が、天気予報通り、試合開始寸前からポツリポツリと雨が…。中止かなあと思っていると、「たとえ、どしゃぶりになろうと、水たまりができてグラウンドコンディションが悪くろうと試合はしますよ。日程も



◀わがチームの巨砲4番打者。5打数
4安打大当りの川上一也君(建築3
年)

詰まっているから」とあっけらかんと部員が言う
ではありませんか。なかなか気合が入っているよ
うです。

さて、そろそろ先発メンバーの発表です。渡辺
主将の“集合”の声とともに、部員たちがゾロゾ
ロと集まってきます。でも、あれ、部員たちしか
姿が見えない。普通、円陣の中心は監督のはずな
んだけど…。——で聞いてみると、武蔵工大に
は監督がいないそうです。ですから、普段の練習
も全く部員たちの手で行われているのです。そん
な中での3部昇格は、部員たち一人ひとりの大き
な自信や活力となったのは言うまでもありません。
負けたって、勝ったって、楽しいのが武蔵工大の野球。

さて、いよいよプレイボール!! 降りしきる小
雨の中、対戦相手は芝浦工大。関東の理工系大学
の中でも一、二を争う知る人ぞ知る実力派チーム
です。

初回、いきなりホームランを打たれてしまいピ
ンチ!! しかし、その後をなんとか切り抜け、す
ぐに反撃。負けずにヒットをつなぎ得点に結びつ
けるなど、武蔵工大らしい勝負強いプレイを見せ
てくれました。試合は両チーム一歩も譲らぬ打撃
戦。途中、攻めに攻めて相手ピッチャーをマウン
ドから引きずり下しましたが、結局5回表に打た
れたホームランが決勝打となり、9対7で惜しく
も敗れてしまいました。負けたとはいえ、精一杯
のプレイに選手もそして応援の人たちも満足そう
…。 “ワイワイ楽しく”というチームカラーが試合
の随所に出ていたと思います。

一人ひとりの“やる気”でここまで来た!

先程述べたように、武蔵工大硬式野球部には監
督がいません。ですから、他のチームに比べ、苦
労も多いのではないかと思います、そのところを監
督代行を務める渡辺主将に聞くと、「自分たちのチ
ームは自主性を重んじています。監督がいないか
らといって、特に困ったことはありませんが、の
びのびと野球に取り組める反面、それが甘えにつ
ながりやすいというのも事実です。でも、一人ひ
とりの“やる気”だけでここまでできましたから、
それは大きな自信になりましたね」と渡辺主将。
さすがに主将だけあって、しっかり分析していま
す。でも本当は監督うんぬんよりも、もっとツラ
イことがあったそうです。それは3部に昇格して
から、今までは楽しければ良かった野球が、勝た
なければ4部に落ちてしまうということ。このプ
レッシャーが、主将としてとっても辛かったそう
です。やっとの思いで掴んだ3部の座。引き継い
だものはそのまま次につなぎたい——そう思うの
も無理はありません。その気持ち、とってもよく
わかります。

これからは新しい時代。新メンバーで頑張れ!!

試合後、雨の中グラウンド脇の木陰で、着替え
をした部員たちは再び集合し、ミーティングを行
いました。今日の試合で4年生は引退。試合を振
り返りながら、いろいろなことを後輩に託す4年
生たちに、大学での野球生活の感想を聞いてみま
した。返ってきた答えは、皆、「楽しかった」とい
うこと。また、最後に強いチームでプレイができ
て、一番いい時期に入部したと言う人がほとんど
でした。「たとえ負けたとしても楽しく野球をする。
それが武蔵工大硬式野球部です」という声も…。
本当に4年生の皆さん、お疲れさまでした。そし
て、今後チームの中心になっていく、1～3年生
の皆さん、新主将の荒井良成君(建築3年)を盛り
立てて、秋のリーグ戦からまた頑張ってください。
応援しています。



▲試合終了後、小雨の中のミーティング。4年生の最後の言葉にききいる下級
生達。この時、4年生の目に涙が…。



次回のコンサートのお知らせ 武蔵工業大学マンドリンクラブ 第29回定期演奏会

日時 平成3年11月8日(金) 開演 6時30分～
 場所 品川区総合区民会館“きゅりあん”大ホール
 JR京浜東北線 東急大井町線 大井町駅下車
 徒歩2分 丸井 新館8F
 ※この会誌をお持ちいただいた方は、ご招待させていただきます。

マンドリンクラブ

顧問：高岡 京 教授
 部長：田辺 肇 (電気電子工学科3年)
 部員数：45名

武蔵工業大学マンドリンクラブ 清泉女子大学とのジョイントコンサートから

音楽を楽しむことは、素敵な毎日を送る上で必要不可欠なもの。でも、どうせなら聴くだけでなく、自分たちで演奏する方がもっと楽しいのでは…と考えるのも当然といえましょう。しかし、たくさん人の心を一つにし、曲を奏でることは、とても大変なこと。まして演奏者が学生で、しかも他大学との合同演奏の場合、どのような苦労の末にステージができていくのでしょうか…。そこで今回は、平成3年5月11日(土)に東京品川区総合区民会館・きゅりあんで行われた“武蔵工大&清泉女子大マンドリンクラブジョイントコンサート”の模様を通して、武蔵工大マンドリンクラブの奮闘する姿をご紹介します。



華やかなステージの影に秘められた 部員たちの“一生懸命”

武蔵工大マンドリンクラブに所属する45名の部員たちは、このコンサートを迎えるために、何と1年半も前から準備を開始。これは開催1年前にホールを確保するための抽選が行われるため、それまでにジョイントを組む相手校などを決めておかねばならないからです。

いろいろな大学へ打診を繰り返した結果、今回のジョイントは、清泉女子大に決定。今年の3月から、いよいよ本格的な合同練習が開始されることになりました。

まずは、曲目やコンサートマスター、指揮者などの役割分担を決めるところからスタート。通常は週3回のクラブ活動も、4月からは日曜日も含め毎日と、練習づけの日々が続きます。さらにより充実した練習ができるようにと合宿も実施。演奏する曲は6パートからなるオーケストラ形式なので、初めから1つに合わせるという練習は不可能。ですから楽器ごとのパートに分かれ、“トップ”と呼ばれる各パートの代表を中心に練習を行い、最終的にメンバー全員で合わせる形式がとられました。

いよいよ、コンサートの始まり始まり

さて、いよいよジョイントコンサートの幕開けです。武蔵工大、清泉女子大、合同演奏の三部構成されたこのコンサートの口火をきったのは、武蔵工大マンドリンクラブによる武蔵工大の校歌演奏。次いで“S. ファルボ作 序曲二短調”、“熊谷賢一 作 マンドリンオーケストラの為のボカリーズ7番 明日へのアリア”が奏でられました。合同演奏の前には、舞台のソデから気合が入った掛け声も披露。さながら運動部のノリです。この元気一杯の声とともに、ピーンと張り詰めた緊張感も客席に伝わってきました。ドキドキしているのが、聞こえてくるようです。そして演奏――。日頃の練習の成果を精一杯発揮した部員の皆さん

の顔は、充実感があふれていてとっても素晴らしい。会場からこの晴れ舞台を飾った努力に惜しめない拍手が送られたのは言うまでもありません。

初めはみんなマンドリンが弾けない!!

素晴らしい演奏を聞き終わった後、部長の田辺肇君（電気電子3年）をはじめ、部員の皆さんにお話を伺ってみました。驚いたことに入部時は、部員のほとんどが初心者とのこと。マンドリンも弾けない、何もわからないという人を勧誘して、そこから鍛えていくというのだからスゴイ!! 入部後、2～3ヵ月の練習で弾けるようになるのですが、専門に教えてくださる先生がいるわけではなく、先輩が後輩に教えるというスタンスをとっているそう…。部員同志で指摘しあって、演奏技術を高めていくという姿勢は、どうやら伝統のようです。



▲部長の田辺肇君（電気電子3年）

ジョイントコンサートの醍醐味とは?

「ジョイントコンサートで一番大変なことは？」と指揮者の川瀬宏和君（電気電子3年）に聞いてみると、「何よりも人間関係」とのこと。それぞれの主張を聞きながら、うまくコミュニケーションをとっていかないと、ギスギスした曲になってしまうそうです。「武蔵工大のメンバーだけなら勝手もわかるけれど、相手の大学のメンバーは未知の世界。まずは考えていることを理解することが大事です」と彼の言葉が続きます。いろいろ気を使ったりして大変だけれど、それ以上に、お互いのカラーを出しあって、新しい一つのモノをつくり出すことに面白さを感じるそうです。また、ジョイントコンサートでは女性と一緒に、いつもと違ったハーモニーが生まれる——これも、曲を作りだす部員の皆さんにとっては、醍醐味の一つといえるでしょう。

演奏者の代表であるコンサートマスターを務めた平林信君（電気電子3年）は、「練習そのものでなく会場設定などの準備が大変。それぞれに運営上の役割があるし、それに個人練習、全体練習もありますから…」と、部員一人ひとりの大変さを語ってくれました。

勉強とマンドリンの両立はいかに……

こんなに練習が大変では、勉強との両立が難しいのではないかと考えがち。やはり文系の大学と違い、毎日授業に出席しなければならないし、実習や実験、そしてレポートもこなさなければなりません。しかし、部員の皆さんが口を揃えて言うことには、「クラブが勉強の妨げになっていることはない」ということ。結局、忙しくても勉強をする人はする、しない人はしない——というわけです。逆にクラブをしている方が、時間の使い方が上手くなるのでは、という意見が圧倒的でした。

こうして無事にジョイントコンサートも終了、マンドリンクラブはこれから秋の定期演奏会に向けて、新たなスタートを切ります。今回裏方に徹した1年生もデビューの予定。また、素晴らしい演奏を聞かせてくれるに違いありません。

顧問のひとりごと

高岡 京
(自然科学系 教授)



昭和35年に顧問を引き受けてから、今までマンドリンクラブ一筋でしたが、うちの部員は、勉強と部活をうまく両立しているまじめな学生が多いですね。

私は、卒論の学生を持たない一般教科の教員なので、このクラブが学生各個人との唯一のスキンシップの場となっています。ですからこのクラブのお蔭で、教員生活にハリが出たように思います。非常に愛着がありますね。

入部時の部員はほとんど初心者。これはいわゆる我が部の伝統とでもいいましょうか、30年前の部発足当時もシロウト集団で、指導者もなく、暗中模索の状態で作って来たって感じですね。何しろ私自身も、楽器の方はからきしで…。そこで縁あって慶応大学マンドリンクラブOBの沢井さんに6、7年ほど指導していただいたんです。ですから武蔵工大のマンドリンクラブは、慶応のクラシック系マンドリンの流れをくんでいるんですよ。

このクラブの特徴は、なんといってもOB、そして他大学との交流が盛んということ。マンドリンの各連盟に加入してから、他大学との交流がグッと増えました。演奏交流がきっかけとなって、後に結婚した学生もいます。般に閉じこもって価値観を狭めるより、たくさんの人に刺激を受けた方が実社会で役に立つと思いますから、これからも交流は広げていきたいですね。OBたちは、合宿や定期演奏会などにも顔を出してくれますから、学生たちも張り合いがでるようです。

また、発足当時から部員が45名前後の大所帯というのも、他大学では珍しいことで、特徴の一つといえるでしょう。

秋の定期演奏会は1年の締めくくり。言ってみれば卒業制作です。学生の気合の入れ方も並ではありません。ぜひ、皆様にも聞いていただきたいと思います。

平成3年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

全国21ヶ所で開催

本会では大学と共催による平成3年度「大学と父母との連絡会」を次の21会場で開催します。この行事は、大学の教育方針や現況等について説明していただくと共に、大学と父母が互いに連絡を密にして、在学する子弟の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。

各会場には、大学側から教職員の方が出席されますので、会員の皆様には、ぜひご出席ください。なお、連絡会の案内は別途に通知されます。

▶ 平成3年度「大学と父母との連絡会日程および会場一覧」

いずれの会場も開始10分前にご集合ください。

開催地	開催日	開催時間	会場と所在地(電話番号)	備 考
函 館 市	9月15日(日)	10:00～12:30	ホテルリッチ函館(2階シルバーの間) 函館市松風町16-18(0138-26-2561)	食事会方式となりますので当日、食事代として2,000円を徴収させていただきます。
札 幌 市	9月16日(月・祝)	9:30～13:00	札幌東急イン(2階平成の間) 札幌市中央区南4条西5-1 (011-531-0109)	食事会方式となりますので当日、食事代として2,000円を徴収させていただきます。
福 島 市	8月31日(土)	13:30～16:00	福島ビューホテル(2階信夫の間) 福島市太田町189-1 (0245-31-1111)	
仙 台 市	9月1日(日)	13:30～16:00	ホテルサンルート仙台(青葉の間) 仙台市中央4-10-8 (022-262-2323)	
宇都宮市	9月23日(月・祝)	9:30～12:00	宇都宮ロイヤルホテル 宇都宮市江野11-16 (0286-33-0331)	
甲 府 市	10月7日(月)	9:30～12:00	甲府ホテル(2階メイブルの間) 甲府市北口1-2-17 (0552-52-1311)	
長 野 市	10月6日(日)	9:30～12:00	長野バスターミナル会館(4階会議室) 長野市岡田町178-2 (0262-28-1155)	
富 山 市	9月7日(土)	13:30～16:30	富山第一ホテル(2階若草) 富山市桜木町10-10 (0764-42-4411)	
金 沢 市	9月8日(日)	11:00～14:00	金沢東急ホテル(5階兼六) 金沢市香林坊2-1-1 (0762-31-2411)	食事会方式となりますので当日、食事代として2,000円を徴収させていただきます。
東 京 都	9月23日(月・祝)	11:30～15:00	武蔵工業大学 世田谷区玉堤1-28-1 (03-3703-3111)	昼食は学生が利用している学生食堂のメニューを試食していただく予定です。
高 崎 市	8月31日(土)	9:30～12:00	高崎ターミナルホテル(6階頂頂の間) 高崎市八島町222 (0273-25-3311)	
新 潟 市	9月1日(日)	9:30～13:00	ホテルイタリヤ軒(5階朝日の間) 新潟市西堀通7番町1574番地 (0252-24-5111)	食事会方式となりますので当日、食事代として3,000円を徴収させていただきます。
静 岡 市	8月8日(木)	午前の部 10:00～12:30 午後の部 13:30～16:00	静岡第1ホテル(1階会議室) 静岡市泉町1-21 (0542-81-2131)	
名古屋市	8月9日(金)	13:00～15:30	名古屋東急ホテル(4階栄の間) 名古屋市中区栄4-6-8 (052-251-2411)	
大 阪 市	8月10日(土)	10:00～12:30	新阪急ホテル(2階花の間) 大阪市北区芝田1-1-35 (06-372-5101)	
宇 部 市	8月24日(土)	10:30～14:00	全日空ホテル(松の間) 宇部市相生町8-1 (0836-32-1112)	が大学から古来学長が出席されます。
広 島 市	8月25日(日)	10:30～14:00	広島国際ホテル(3階パール・ルビーの間) 広島市中区立町3-13 (082-248-2323)	
松 山 市	8月26日(月)	10:30～13:00	東京第一ホテル松山(3階若草の間) 松山市南堀端町6-16 (0899-47-4412)	
福 岡 市	9月1日(日)	午前の部 9:30～12:00 午後の部 13:30～16:00	天神ビル(11階会議室(7号室)) 福岡市中央区天神2-12-1 (092-721-3111)	
鹿児島市	8月31日(土)	10:30～13:00	鹿児島東急イン 鹿児島市中央町5-1 (0992-56-0109)	食事会方式となりますので当日、食事代として2,500円を徴収させていただきます。
那 覇 市	7月14日(日)	10:00～12:00	沖縄東急ホテル(11階海の間) 那覇市天久1002 (0988-68-2151)	